

SX-Aurora TSUBASA ソフトウェア (2021年3月リリース) リリースノート

日本電気株式会社

平素は SX-Aurora TSUBASA をご利用いただき誠にありがとうございます。2021年3月リリースの SX-Aurora TSUBASA ソフトウェアについて、前バージョン(2020年12月リリース)からの強化内容につきまして以下に記載いたします。

1. 概要

2021年3月リリースの SX-Aurora TSUBASA ソフトウェアでは、NLCPy をサポートしました。また、各製品について機能強化を行いました。

2. 動作環境

SX-Aurora TSUBASA ソフトウェアは、以下の Linux ディストリビューションのバージョンおよびカーネルバージョンにおいて動作を検証しております。掲載以外のバージョンでは、動作を保証できなくなる場合がありますのでご注意ください。

OSバージョン	カーネルバージョン
RHEL 8.2	4.18.0-193.28.1.el8_2.x86_64
CentOS 8.2	
RHEL 8.1	4.18.0-147.8.1.el8_1.x86_64
CentOS 8.1	
RHEL 7.8	3.10.0-1127.19.1.el7.x86_64
CentOS 7.8	
RHEL 7.7	3.10.0-1062.4.1.el7.x86_64
CentOS 7.7	3.10.0-1062.12.1.el7.x86_64
	3.10.0-1062.18.1.el7.x86_64

ベクトルホスト(VH)ターゲットモデル：

	エッジ モデル	オンサイト モデル				データ センター モデル
モデル名称	A100-1 A101-1 A111-1	A300-2	A300-4 A311-4	A300-8 A311-8 B300-8	A412-8 B401-8	A500-64 A511-64
最大搭載ベクトルエンジン(VE)数	1	2	4	8	8	64

3. 本リリースでの主な強化・変更点

本リリースでは、下記の項目を強化しました。

製品名	カテゴリ	強化内容
VEOS	OS	<ul style="list-style-type: none"> ✓ VEO API を呼び出す MPI プログラムへの対応
NEC Software Development Kit for Vector Engine	NEC Numeric Library Collection	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ASL統合インタフェース <ul style="list-style-type: none"> ➤ 乱数生成のスキップ性能を改善 ➤ FFTとソートにおいてハンドルの複数スレッド間での共有に対応 ➤ FFTとソートにおいて複数ハンドル使用時のメモリ使用量を削減 ➤ ログ出力の内容を詳細化 ➤ ユーザーズガイド内の”スレッドセーフ性”の説明を改善
	NLCPy	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 新規追加
	NEC MPI NEC MPI/Scalar-Vector Hybrid	<ul style="list-style-type: none"> ✓ VEO 連携強化 ✓ トレースバック強化 ✓ MPI ランク情報強化
NQSV	スケジューラ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ PlatformMPI をサポート ✓ qstat -f オプションに実行ホスト情報を追加
ScaTeFS	ファイルシステム	<ul style="list-style-type: none"> ✓ sosreport に対応

VEOS の変更内容については、下記も併せてご確認ください。

VEOS ドキュメント”WHAT’S NEW”

<https://www.hpc.nec/documents/veos/jp/WHATSNEW.txt>

4. 注意・制限事項

なし

以上